

『幼稚園の現場から』

38・プールができなくなる！？

原町幼稚園園長 鶴谷主一（静岡県沼津市）

《猛暑でプール中止！？》

2学期が始まるにあたって、夏の研修会に参加してきた教員同士で報告会を行った。

そこで驚く内容があった。「園の危機管理」研修会での一コマ。「皆さんの園ではプール活動をしていますか？もし涼むためや夏はプール遊びをやるもんだと、なんとなくやっているなら今すぐ中止して下さい！」と講師から言われたというのだ。

暑い夏はプール！水あそび！が定番でしょ！…と思っていた僕にとっては「ええー！なんで？」という驚き。そういえば先日、知り合いから甥っ子の保育園では猛暑のためプールの水温が上がりすぎてプールができない！という話を聞いたことがある。そのことかな？と思って続きを聞いてみると…。

まさに猛暑のためだった。水に入っているだけでも（水温が高いと）直射日光でこどもの体温は急激に上がり、熱中症にかかってフラットしてしまうことがある。水の中でフラットきたらどうなりますか？こんな危険極まりない活動は「なんとなく」やるものではありません。それに、全員が水に入っている訳ではなく、プールサイドで遊んでいる子どももいるでしょう？そんな子どもは熱中症のリスクが高いのです。更に最近は生まれてからずっと空調の効いた中で過ごしてきた子どもが多いから、急に炎天下のプールで急な体温変化により体調を崩したり熱中症になりやすくなる。

きちんとした目的もなく行うのはリスクが高すぎる！だからいますぐ止めて下さい。というのが講師の提案だった。

水温に関していうと、僕ら地元の沼津市の水はとてもおいしくて冷たい。夏は冷たさが弱まるがぬるいほどではない。水のシャワーを浴びると「うわ！つめたっ！」と直接浴びるのをためらうほどの水温だ。日光によりプールの水温も上がるが、水を入れながら活動すればそれほど問題になるこ

とではない。だから水温が高くてプール活動ができないというのは、都心部の話だろうと思っていたが…

「今年プールをやめた園は？」という講師の質問に数園が手を上げたという。確かに循環濾過設備を備えた園では、水はキレイになるけど水温は下がらないし、水道代のコストも掛けられないという訳か…。そういえば、沖縄に旅行したときに、ホテルにオシャレな屋外プールがあって、いそいそと入ったら、なんとお湯だったので、隣接する海に駆け込んで身体を冷やしたことを思い出した。これも循環濾過型プールの弱点である暑すぎる水温問題だったのだ。



中には、夏のプール活動は廃止し、年間を通してスイミングプールに通うことにカリキュラムをシフトした幼稚園もあったそうだ。

さて、この報告を聞いた保育者たちはどんな反応をしたか。スイミングプールで泳ぎを習得することだけでは得られない「遊びながら水の性質を体験的に知り、気持ちを開放する」という水に付随する活動の幅のことを懸念する意見も多かった。水あそびって結構いろんな体験を保障してるはずなんだけどなあ…ということだ。個人的には「水遊びができない夏なんてつまらないじゃん！」と思っているのだが。



プールでかおを洗ってみよう！
顔をつけられる人はつけてごらん♪

プール活動を保障するためには、熱中症という新たな脅威に対応しなければならない。原町幼稚園のプールは屋上にあり、2枚のサンシェードが張られているが、サンシェードの枚数を増やそうとか、水温に気をつけて早めに足し水をしておくこと、不慮の事故だけでなく熱中症にも配慮しながら監視を行わなければならないね、という話合いがなされた。もちろんプール活動は継続する、その意義もあると考えている。

今年の夏も水の事故が多かった。静岡県でも県内全域に水難事故多発警報が発令されていたほどだった。

中でも衝撃を受けたのは、東京のゆうえんち豊島園で、ライフジャケットを着た8歳の女の子が「エア遊具」と呼ばれる「ふわふわウォーターランド」のマットの下で監視員に発見され、病院で死亡が確認された事故だった。遊具の下に潜り込んだ女兒がライフジャケットの浮力でマットの下に押しつけられてパニックになり、水面に脱出できなかったのではないかとされているが、どうやってマットの下に潜り込んだかはわからない。

ライジャケが裏目に出たケースだが「ライフジャケットをきちんと装着していれば安全！」と盲目的に信じ込んでいた自分の死角を突かれて考えさせられた。

どうすれば、自ら水の事故を回避できる力が育つんだろう。幼児期には何をしておいたら・・・



ジョウロで
お花に水をあげましょ♡

たとえば、スイミングに通ってクロールで泳ぐことができたにしても、夏休みなどに水あそびをする場所は、多様性のあるプールだったり海や川だったりする。そこにはいろんな危険が潜んでいるが、そのときに水の特性や自分の身体の処し方を知っているといたないとはどうだろう。これをやったから大丈夫という万全な対策は難しいにしても、「これ危ないかも？」と危険を嗅ぎ分ける鼻ぐらいは効かせられるようになってほしい。



お花が開きましたー！

僕は田舎育ちなので、夏休みは毎日のように川や海で泳いでいたが、そこでクロールで泳ぐ子どもはほとんど見かけなかった。流れもあり水面も波立っているし水深も場所によって変わる。ときには岩があって気づかないと水を蹴った足をぶついたりもする。そのため平泳ぎや立ち泳ぎなど、顔を出して呼吸を確保したり水中を見たり、周りの状況を見てながら泳ぐのがいちばん適した遊泳方法だったのだ。だからという訳では無いがプールで習得した泳ぎの技術が、どの程度自然の水場で通用するのは疑問が残るところだ。

幼稚園のプールで遊んだ経験がどの程度将来役に立つのか分からないし、訓練のための活動でもないのだが、原町幼稚園のプール活動については、次のように運営面の取り扱いを設定し、目的については保護者向けの文書で示しています。

▶教職員用提案

プール活動を始めるにあたって

2019.6.14.

原町幼稚園・原町保育園/鶴谷

プール活動を始めるにあたって、注意しなければならないことを優先順位順に並べると**子どもたちの①安全の確保、②衛生面、③水泳指導**である。次の事項を守ると同時に資料「溺水事故の事例と応急処置法」を持っていない者は各自コピーし目を通して安全管理意識を高め、水の事故は絶対に起こさないという意識を持つのは当然のことながら、万が一の事態にも備えて下さい。

指導者厳守事項！

- ① プール活動は、監視の大人が2人以上いること。
子どもから目を離す状況を一瞬たりともつくってはならない！
- ② 活動中も全体やプールの隅に気を配り、安全の配慮を怠らない。
- ③ トラブル等が起きて緊急に人手がいるときには、
自分一人で処理しようとせず、速やかに人を呼ぶこと。
- ④ 子どもたちに「プールのきまり」を守ることを徹底し、
溺水事故以外での転倒等の事故を防止すること。
- ⑤ 「プールのきまり」にない事柄でも次の事項は子どもたちに守らせること。
 - 子どもだけでプールに入ってはいけない。※プールのドアは使用時以外は常に施錠
 - 人のいる場所に立って飛び込んだり、飛び込みはしない。
 - 人を押したり沈めたりしない。
 - プールサイドの壁には登らない。また、ベンチやすべり台などを壁の側に置かないように注意する。
※友だちを沈めたりといった危険な現象が見られた場合は、速やかに全員をプールから上げ、本人に二度と起こしてはいけないことを厳しく指導する。場合によってはプール活動から外す。

=====

◆プール活動の段取り

◇見学者の扱い

- ・プールチェック表を毎朝チェックし、見学者を把握。→幼稚園はメモで事務室へ届ける
- ・プールに入れない子どもは、基本的に活動を見学する。
- ・水がかからないように、日の当たる場所に居ることがないように注意して下さい。
- ・人数が多い場合は、フリー職員や、学年ではいる場合は一人そちらを担当します。

◇水着の扱い

- ・子どもは活動が終わったら、水着をしぼり、帽子、タオルにくるんで自分でしまう。
- ・その日のうちに持ち返します。
- ・プール活動がない日は園に置いておきますが、スイミングに通っている子、週末は持ち返します。
- ・先生の水着は洗濯して干しておいても結構ですが、保育時間に干しっぱなしにならないように朝は取り込み、各自保管して下さい。

◇その他

- ・伝染病などに注意し、しっかりシャワーを浴びさせ、足を洗って下さい。
- ・紫外線に弱い子どももいます、基本的に水着で入りますが、ラッシュガードやTシャツ等の着用も可能です、相談があったら応じて下さい。
- ・プール活動お休み日はプールカードにマークを入れる（おさかなスタンプ）

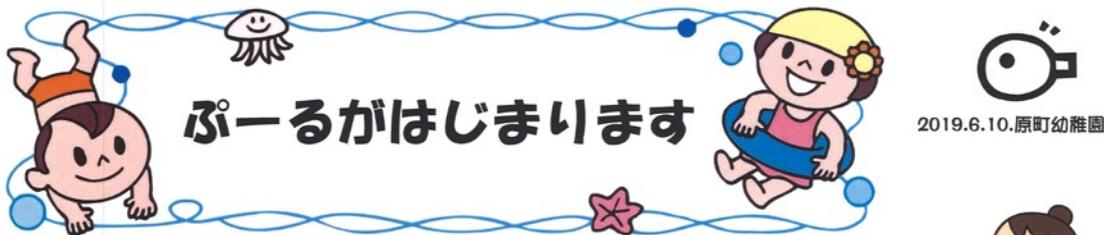
《プール掃除手順/保育後毎回》

- ①おもちゃ、すべり台の片づけ、プールサイドや流し、溝のゴミを拾う。
- ②プールの栓を抜き、水があるうちにプールサイドに水を流し、スポンジや雑巾で拭き掃除する。
- ③ホースで水を流して取りきれないゴミをすくいとる。
- ④ロープ固定をする。前日の水張り（漏れがひどい場合は無し）
(30分) ※キッチンタイマー使用
- ⑥あしふきのバスタオル（棚に置いておく）を交換する。

=====

※実際のプリントにはこのあとに溺水・蘇生法の資料が添付されています。





ぷーるがはじまります

2019.6.10.原幼幼稚園

来週はまにまにプール開き！プール活動についてお知らせします。

プール活動では、

- 乳児～年少児『水に慣れ、水あそびを楽しむ』
- 年中児『水に慣れ、水を顔にかけられる』
- 年長児『水に顔をつけることができる』→『水に浮くことができる』

以上の目標を持って取り組みます。楽しく遊んでいるうちに自然と慣れていくというのが一番良いのですが、水が苦手だというのはお風呂に入ったときにシャンプーや顔洗いをがんばるなど、水に慣れるような工夫をしてみてください。そして、一番大切なポイントは『水の楽しさと同時に危険なこともある』ということを知ることです。水を恐れず油断せず“水と友達”になれるように進めていきたいと思ひます。



◆晴れた日、気温などのコンディションをみてプールに入ります。

プール使用時間	時間枠	幼稚園のプール	保育園のプール
右の時間枠の中で年齢別に幼保のプールを効率良く使います。	9:00~		保育園にて使用
	A枠 9:50~10:40	年少・うさぎ	年少・こくま
	B枠 10:50~11:30	年中・年長	年中・年長
	C枠 12:30~13:30	年中・年長	年中・年長

- ◆雨天、気温の低い日（概ね25℃以下）、土曜日（保育園）のプール活動はお休み、もしくは短時間になります。
- ◆誕生日や行事日は他の活動が入っている日はプールはお休み、もしくは活動後に入れるクラスが入ります。
- ★基本的に左の表でプール活動の予定を入れていきますが、天候や学年のカリキュラムによって入れ替わったり中止したり、逆に曇り日はプールに入ったり臨機応変にプール活動を行います。

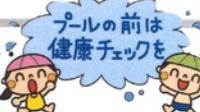
◆プールセット/全て記名をしてご用意下さい。

- ①水着（女児はワンピースタイプ。柄は自由です。ラッシュガード使用可）
- ②水泳帽（水抜けの良いメッシュタイプが良いです）
- ③バスタオル（大きすぎずスポーツタオル程度のサイズ）
- ④濡れ物用ビニール袋 ※ゴーグルは使いません
- ⑤水着バッグ（市販のもので結構です。）



- ①～④を「プールセット」として⑤に入れて、いつもの着替え袋と一緒にに入れてプール開きの日から持たせて下さい。
- ◆毎日の着替え袋に下着のパンツを忘れないように入れて下さい、プールのあとにきがえます。
- ◆プールセットは使用したら持ち帰ります。未使用時は園においておきますので、スイミング等で使う方は園の水着とは別に用意下さい。
- ◆休日の前には全員持ち帰ります。

プールセットを持ち帰ったらプールの予定がなくても次の日に持たせて下さい。別紙プールチェックカードは体調をチェックして毎朝もってきて下さい。



◆プールに入れないとき

- 以下の症状のときはプールはお休みにして下さい。
- ・熱、咳、鼻水、下痢や腹痛
 - ・湿疹や傷が化膿しているとき
 - ・とびひなどの皮膚疾患→専門医の許可必要
 - ・結膜炎など目の病気
 - ・中耳炎など耳の病気
 - ・アタマジラミ



◆水いぼができていてもプールに入れる場合

水いぼはプールの水を介してうつることはありませんが、接触によりうつる可能性があります。接触する場面とは、部屋で着替えをしているとき、移動するとき、プールの中であそんでいるとき等が考えられます。ただ、水いぼをパッチなどでおおってしまえば良いので、下の基準を満たした場合プール活動はできますので、対応をお願い致します。

1. プールのある日は水いぼを完全におおうことのできる市販のパッチ*を貼って登園して下さい。担任への連絡も必ずしてください。
 2. はがれたときの予備を（貼ってある箇所×1枚）持たせて下さい。
 3. 更に、ラッシュガードなどでカバーできるようなら使用して下さい。
 4. 本人にも友だちに触らないようお話をしておいて下さい。
- *防水パッチ=市販の「防水ファンタッチパッド」「防水傷保護バン」などがあります。傷用絆創膏、カットバンなどははがれやすいので不可。防水のものを貼って下さい。

★プール熱にご注意！

ご存知ですか？プール熱。夏かぜの一種で発熱、咽頭痛、結膜炎などの症状があります。プールの時期に感染することが多いためプール熱と言われていますが、高熱が出て目が充血していたらプール熱の疑いがあります。（第2種の伝染病扱いのため出席停止となります）

もしかかってしまったら・・・

- 脱水症状にならないよう、水分を十分とりましょう。
- 熱冷ましを使いすぎないように、涼しい部屋で安静に！
- お医者さんに行って診断を受けて下さい。
- 発熱、咽頭痛、結膜炎の症状が消えてから2日経過するまでは伝染の可能性があるのでお休み下さい。



◆プールに入れない場合

- パッチで水いぼを完全にカバーできない場合。
- お子さんが、パッチを貼るのを嫌がりたり自分ではがしてしまう場合。
- プールに入る前にパッチがはがれていて予備もない場合。
- 水いぼ以外の皮膚疾患（とびひなど）

水いぼについての詳しい情報はHPで参照下さい
【日本小児皮膚科学会】で検索→お知らせ→水いぼの欄を閲覧
http://jspd.umin.jp/04_3.html

飛び込み禁止に思う

主に中高生のケースだが、プールに飛び込んでプールの底に頭を打って重大な障害が残った事故が繰り返され、学校の授業では飛び込みは全面禁止、レジャー施設のプールも飛び込み禁止なので、子どもたちがプールで水に飛び込む機会はほぼ無くなったのだ。

僕は小6まではプールの授業が嫌でたまらないほど泳ぐのが苦手だったが、中学になって友だちと自転車に乗って川に行き始めてから泳ぎの面白さに目覚め、高校ではクラスで一番早いスイマーになっていた。まだゆるーい時代だったのでプールも川もみんなバンバン飛び込んでいたし、水あそびの楽しさの半分以上は「飛び込みの爽快感」だ感じていた。そのため自由に飛び込めない現状には窮屈さを感じている。

禁止されているにも関わらずテレビなどでは飛び込むシーンは結構出てくる。競泳を見ているとカッコ良く飛び込むではありませんか。誰も「飛

び込んでみたい！」と思うときがあるだろう。そう思ったときに、正しい飛び込み方を知っておいて欲しいと思うのだ。でも学校では教えてくれない、幼稚園でもプールが浅くて教えられない…とすると親が教えるかスイミングスクールで強化選手になって教わるしかないのかなあ、と思う。

安全管理から考えれば一生飛び込まなくても良いのだが…仲間とどっかの川や海に遊びに行って「とびこもうぜー！」なんて盛り上がったときに、親の知らないところでどんなシーンが訪れるかわからない。やみくもに勇気を出して飛び込むことほど危険なことはない。水深や飛び込み角度についての知識と経験が必要なのだ。

教育に限らずいろんなシーンで「まずは安全確保」という認識から、不都合なことを遠ざける傾向がある。幼稚園のプールがもうすこし充実していれば指導しておきたいところだが、もう一つのプールの話として、昭和40年頃に活躍していた僕の親父のことを紹介しましょう。

おやじの水泳指導

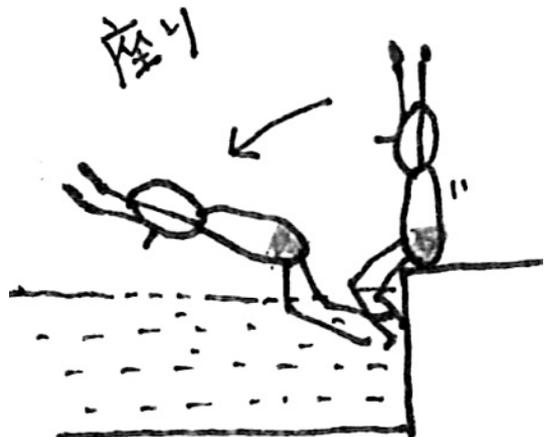
宮崎県の小さい町、都農町にあった僕の実家は80名ぐらいの小さい幼稚園だったがプールはデカかった。コンクリート製で水深1m10cm、縦10m×横6m。深いので年少組は全員浮輪でプカプカ浮かんで遊んでいたし、プールサイドから大人の僕が飛び込んで子どもたちに見せることも出来た。(ただ、やはり浅いので首にぶら下げた笛がプールの底について擦れる音がシャーッと聞こえるときもあった。「ちょっと深く潜りすぎたな…」という訳だ)

なぜこんなでっかいプールを造ったかという、昭和43年に(僕が小3の頃)卒園生が町営プール

で排水溝に吸い込まれて死んでしまうという痛ましい事故をきっかけに「園児はみんな泳げるようにする！」という決意のもと園長であった父が造ったものだった。スイミングスクールなんて無い頃である。父のプール指導は我流で粗削りだった。僕は大人になってから一緒に指導をすることになったが、この一連の指導を繰り返し、年長児は夏を越すとほぼ全員10mを泳ぎ切れるようになっていたのは驚きだった。言うておくが、泳ぐフォームはくねくね身体が曲がったり息継ぎなしだったりとかキレイではないが、生命力溢れる印象はあった。

《泳ぎと飛び込みの指導方法》

- まず、「ガマンガマン！」と言いつつ全員の顔に水をかけて歩く。水慣れしていない子どもたちは顔をそむけたり、手をグツとにぎって耐えたりしていた。
- 次に、遊ぶ時間に子どもの手を引いてよくプールの中を歩き回っていた。
「顔をつけられたらつけてごらん！」
- その次にバタ足の練習。プールサイドにつかまって足をバタバタやるあれだ。



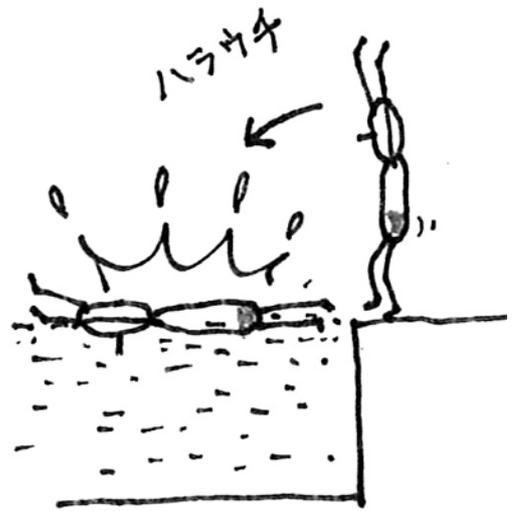
- そして、いよいよここから水深1メートルのプールの本領発揮。子どもをプールサイドに座らせ、両手を高くバンザイさせる。

- そして足でプールの壁面を蹴って“座り飛び込み”を練習させるのである。一人ずつ横に立っておなかに手を当て、補助しながら水に平行に飛び込めるようにする。

- 最終段階は、立ち飛び込み。「ハラウチ」と言っていたが、ピョーンと飛んでお腹から着水する、だから腹打ち。大人がやるとイタイ～！ってことになるが、頭をプールの底に打つのを防止するための方法だった。

※小学生以上になると腹打ちはカッコ悪く、水泳選手みたいにみんな飛び込めるように練習していた。

- そのときに、肝心なのは手首を下に向けずにウルトラマンみたいに上に向けておくこと。水面に向かって浮くようにするため、手首が下を向いていると水底に向かって進んでしまうので危険である。（飛び出すときの方向を示す意味もあったと思う）



《水遊びの醍醐味》

毎年、市内のレジャープールがオープン前に子どもたちを招待してくれる。流れるプールの子深を園児の腹ぐらいまでにして1日開放してくれるのだ。水慣れしている子どもたちにとっては格別に楽しい日だし、水の苦手な子どもたちも、すべり台などで遊べるので、予定をやりくりして参加するようにしている。僕や男性の教員は、水慣れしている子どもを投げ込むことを楽しみにしている。

- 子どもを投げるコツは、「ウルトラマンのポーズして！」と両手を上に伸ばさせて手のひらを反らせ、両脇を抱えて前に投げるが、お腹から着水するように投げる。深ければかなり遠くまで投げられる。慣れていない子どもは、足から着水するような角度で投げると徐々にハラウチに近づいてくる。

- 腕が疲れてきたら、立った姿勢から子どもに自分でジャンプさせて脇の下を持って前方に投げる。これも腹から着水の「ハラウチ」が基本だ。頭から入るとプールの底で頭を打ち危険だ。

- 一回転は、腹ばいの子どもを両腕で抱えてセットし、持ち上げながら頭を中心に足のほうを上げて



半円を描くように足を最後の回転まで押し出すように回して背中から着水させる！

慣れている子どもたちは何回もせがむほど好きなプールならではの遊びだ。

◎お父さん方が、我が子とやる場合は、顔の水つけができて、水に浮くことができるまでは手を引いたり、お腹を支えて泳がせたりして水慣れしてからね。

●“投げ”は小さい動きから徐々に大きくしていくほうが良いでしょう。子どもも慣れるまでは、緊張して身体が固くなったり、思わぬ動きをして着水時に危険なので、いきなりやらないこと！

「命を守る教育」と言っても、羊を囲っているだけのようなやり方では、危機に直面したとき、自分で自分を守る力が身につくのか心配である。

『水を恐れず油断せず、水と友達になろう』このキャッチフレーズが生きてくるようなプール活動を今後も目指していきたい。

個人で我が子とやる方は、あくまでも徐々に楽しく！です。



左手を弧の支点として
右手で押し出すように
身体を回してあげます



えいやー！って
半回転を意識して
持ち上げます。
子どもは
きちんと
ウルトラマンの
ポーズをとる。



背中からじゃっぼーんと着水！
陸上ではなかなかできない
体験です。





原町幼稚園 園長 鶴谷圭一 (58)
 HP : <http://www.haramachi-ki.ed.jp/>
 MAIL : office@haramachi-ki.ed.jp
 Twitter : @haramachikinder
 Instagram : haramachi.k

▶ご感想・ご意見ご質問等ありましたら
 気軽に連絡ください。

-
- 「幼稚園の現場から」ラインナップ
- 第1号 エピソード (2010.06)
 - 第2号 園児募集の時期 (2010.10)
 - 第3号 幼保一体化第 (2010.12)
 - 第4号 障害児の入園について (2011.03)
 - 第5号 幼稚園の求活 (2011.06)
 - 第6号 幼稚園の夏休み (2011.09)
 - 第7号 怪我の対応 (2011.12)
 - 第8号 どうする保護者会? (2012.03)
 - 第9号 おやこんぼ (2012.06)
 - 第10号 これは、いじめ? (2012.09)
 - 第11号 イブニング保育 (2012.12)
 - 第12号 ことばのカリキュラム (2013.03)
 - 第13号 日除けの作り方 (2013.06)
 - 第14号 避難訓練 (2013.09)
 - 第15号 子ども子育て支援新制度を考える
 - 第16号 教育実習について (2014.03)
 - 第17号 自由参観 (2014.06)
 - 第18号 保護者アナログゲーム大会 (2014.09)
 - 第19号 こんな誕生会はいかが? (2014.12)
 - 第20号 ITと幼児教育 (2015.03)
 - 第21号 楽しく運動能力アップ (2015.06)
 - 第22号 〔休載〕
 - 第23号 大量に焼き芋を焼く (2015.12)
 - 第24号 お話あそび会その1 (発表会の意味)
 - 第25号 お話あそび会その2 (取り組み実践)
 - 第26号 お話あそび会その3 (保護者へ伝える)
 - 第27号 おもちゃのかえっこ (2016.12)
 - 第28号 月刊園便り「はらっば」 (2017.03)
 - 第29号 石ころギャラリー (2017.06)
 - 第30号 幼稚園の音楽教育 (その1・発表会)
 - 第31号 幼稚園の音楽教育 (その2・こどものうた)
 - 第32号 幼稚園の音楽教育 (その3・コード奏法)
 - 第33号 〔休載〕
 - 第34号 働き方改革・一つの指針
 - 第35号 働き方改革って難しい
 - 第36号 満3歳児保育について
 - 第37号 満3歳児保育・その2
 - 今号 プールができなくなる!?
-